

第 42 回全日本バレーボール小学生大会 鹿児島県大会実施について

【入・退館者 管理員について】

○目的

新型コロナウイルスの感染対策として、体育館の使用コートを制限して実施するため、会場が多く必要です。

このように多くの会場で試合を運営するには、県小連の係だけでは人手が足りないため、地区から選出して頂いた競技員、各チームの指導者及び関係者に協力をしていただき大会を運営しなければなりません。そのなかでも、新型コロナウイルス感染対策（検温の確認、ID 確認等）を行うため、体育館の玄関付近に係員（入・退館者管理員）を配置し、入館及び退館者の管理をおこなう。

○入・退館者 管理員について

自分のチームが審判にあたる時に、体育館の玄関にて入館者（これから試合を行うチーム関係者等）と退館者（試合が終わったチーム関係者等）の管理を行う。

詳細な役割は、下記（5）に記載。

- (1) 対象者： 各チームの指導者又は関係者（サポーター含む）※選手、子供は NG
- (2) 人数： 各チーム 2 名（A、C コートで審判を行うので全員で 4 人となる）
ただし、相互審判の時は、チームから 1 名とする。
- (3) 対応場所： 体育館の玄関
- (4) 対応時間： 自分のチームが審判を行う時間帯は常時玄関で対応する。

（試合開始から試合終了後対象チームの指導者、サポーター、選手等が退場するまで）

(5) 役割

ア 入館者の管理

2 試合目以降は、次の試合の選手、チーム関係者を現在の試合終了前に入館させ玄関付近での密を避ける。また、試合進行をスムーズに行う。

試合の為に体育館に入るチーム関係者（選手、指導者、サポーター）の検温実施、ID を確認する。※ID を付けていない方は入場禁止

イ 退館者の管理

試合が終わったチームが退館する際、玄関で密にならないように調整する。

ウ その他

試合、審判に関係のない方が入館しないように監視する。

（一時的なトイレの使用などの入館は可能とする）

以上